

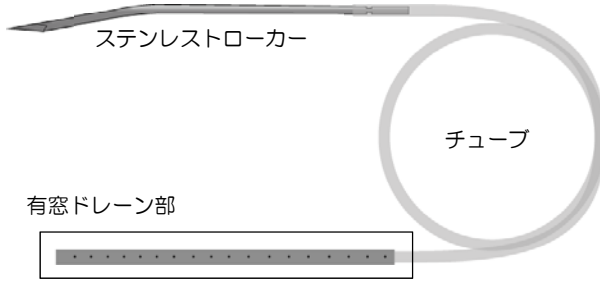


吸引ドレーンキット（J790/J790A/J790B/J790C）取扱説明書

この度は吸引ドレーンキットをご購入いただき、ありがとうございました。

本品は、ゴム球の復元力による吸引圧によって創部からの廃液を行うアクティブドレーンキットです。主に胸部手術後のドレナージとして用います。有窓ドレーン部分にはX線造影ラインが含まれています。

創内から得られた滲出液は保管、可視化、培養に用いることができます。

キット内容（各部の名称）

<ul style="list-style-type: none"> • ステンレストローカー • シリコン製有窓ドレーン+チューブ 	 <p>ステンレストローカー</p> <p>チューブ</p> <p>有窓ドレーン部</p>
<ul style="list-style-type: none"> • ゴム球（シリコン製） <p>J790A/J790C 200cc ゴム球</p> <p>J790 /J790B 100cc ゴム球</p> <p>※200cc ゴム球上部にある 先端に穴のない突起は使用しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • クリップ（患畜の被毛やバンテージ等への固定用） 	 <p>接続口キャップ</p> <p>廃液口キャップ</p> <p>チューブ接続口（小口径）</p> <p>廃液口（大口径）</p> <p>ゴム球(200cc)</p> <p>クリップ正面図</p>
<ul style="list-style-type: none"> • チューブアダプター（J790/J790B/J790Cのみ） <p>※J790Aの接続には使用しないため、同梱されていません</p>	 <p>チューブ接続口</p> <p>ゴム球接続口</p>

使用方法の例（参考）

1. 開創部から離れた場所に、トローカーを用いて創内からチューブを創外に刺し出し、有窓ドレーン部を創内の適切な場所に配置してください。予め処置前にチューブの長さを計り、創外に差し出したチューブの長さを計りながら有窓ドレーン部を完全に創内に収めてください。
2. チューブは長めに作られているため、創外にて必要な長さにカットしてください。
3. ゴム球を押しつぶした後、ゴム球上部の廃液口キャップにて廃液口を閉じた後、ゴム球上部のチューブ接続口に、2でカットしたチューブ切断面を取り付けてください。（チューブアダプターが同梱されている製品では、ゴム球にチューブアダプターの【ゴム球接続口】を接続し、チューブアダプターのチューブ接続口に2のチューブ切断面を取り付けてください）
4. 陰圧によりゴム球内が滲出液や空気で満たされた後は、創外のチューブ部分をお手持ちのチューブクランプ等でしっかりと把持/固定してから、ゴム球を取り外し、中身を空にしてください。
5. 必要に応じて3～5の手順を繰り返してください。